

て遠く其姿を没して了つた、馬は其を見ると共に然も安心したる様に一聲低く嘶いたので、上等兵は初めて吾身の危急の場合を其愛馬が前知して助けてくれた事を悟り、思はず馬を抱いて感激の涙を流したとの事である。

教を守つて斃れた犬

佛國ビッドフォルドの或る人は、日頃何んでも棄てあるものは取て來いと其愛犬に教へて置いた。處で或る日其人は、家庭の池の中の鯉を殺す爲め、爆裂弾を抛げ込んだ、すると其犬は突然飛び込んで其弾を噛へ弾は破裂して終に死んで仕舞つたそうです。

お話し三つ

馬鹿の夫婦

むかし／＼或所に夫婦者が居て、三枚の餅を一枚づゝ分けて食つて、残つた一枚を一人して半分づゝ食はうと言ふと、婦の方のいふには、「夫よりはこれから二人で無言の行の仕較をしよう、そして先きに語られた方を敗」とし、勝つた者が、此餅を食ふことにしやうじやないか」そこで、夫も「夫がよからう」といふので、夫から二人して夜中まで、無言の儘で睨み合をして居た。所が、丁度、其處へ盜賊が這入つた、そして、夫婦の者が、自分を見ながら然言であるのを見て、全く恐ろしいき出して持つて行かうとした。そこで、婦はとうから黙つてゐたのだなと思つて、そこら中の物を引き出して持つて行かうとした。そこで、婦はとうからなくなつて夫に對ひ、「お前さん、男のくせに、何で盜賊を見逃すのです」と言ふと、夫は